



看護師の「仕事に向き合い続ける力とその心理 的基盤」の調査説明書

研究責任者 古谷 淳

学校法人越原学園 名古屋葵大学 児童教育学科 講師

はじめに

この説明書は標記の研究内容について説明するものになります。この研究について、研究責任者からの説明を聞いた上で、研究に参加されるかどうか決めてください。

理解しにくいことがありましたら、どうぞ遠慮なく研究責任者にお尋ねください。

研究の目的・意義

本研究は、医療機関で働く看護師の皆さまが、日々の仕事の中でどのような思いを抱きながら働いているのか、そして、どのような心理的な要因が「これからも看護の仕事に向き合い続けようとする気持ち」を支えているのかを明らかにすることを目的としています。

近年、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。患者の高齢化や医療の高度化に伴い、看護師の役割はますます重要になっています。一方で、日々の業務の忙しさや責任の重さのなかで、心身の負担を感じたり、将来の働き方について考えたりする場面も少なくないのではないかと考えられます。

これまでの研究では、賃金や労働時間、業務量といった「働く条件」に注目するものが多くありました。しかし実際には、同じような環境で働いていても、仕事に前向きに取り組み続けられる人もいれば、気持ちが揺らいでしまう人もいます。その違いの背景には、物事に粘り強く取り組む力や気持ちを切り替える力、日常生活の中で感じる充実感、仕事への満足感、職業に対する思い入れ、仕事にいきいきと関わる感覚など、さまざまな心理的な要因が関係していると考えられます。

本研究では、職場や個人を評価することを目的とはしていません。そうではなく、看護師の皆さま一人ひとりが、どのような気持ちや考えを抱きながら日々の仕事に向き合っているのかを丁寧に把握し、「仕事に向き合い続ける力」がどのような心理的な土台の上に成り立っているのかを整理することを目指しています。

本研究の意義は、看護師の皆さまが日々の仕事の中で感じている思いや実感を、多くの回答を通して全体の傾向として「見える形」にすることにあります。現場で感じていることは、これまで個人の経験として語られることが多く、十分に共有・整理される機会は限られてきました。本研究では、多くの看護師の声を集めることで、医療現場で働く看護師の実情を、より丁寧に捉えることを目指します。

こうして得られた知見は、看護師が前向きな気持ちを保ちながら仕事に向き合い続けるためには、どのような心理的な支えが重要なのかを考えるための基礎資料となります。それは、今後の職場環境づくりや支援のあり方を検討する際に、現場で働く看護師の実感を反映させるための大切な手がかりになると考えられます。

本研究は、看護師の皆さま一人ひとりの経験や感じ方を尊重し、その声を社会に伝えていくことを目指すものです。皆さまの率直な思いを知ることが、看護師が長く安心して仕事に向き合い続けられる環境を考えるための一助となることを、本研究の大きな意義としています。

研究の方法と時間について

本研究では、医療機関で働く看護師の皆さまを対象に、オンラインによる Web 調査（アンケート）を実施します。調査は、スマートフォン、タブレット、のいずれからでも回答できる形式で行い、日常のご都合に合わせて、無理のないタイミングでご参加いただけるよう配慮しています。

Web 調査では、年齢や経験年数などの基本的な項目に加え、日頃の仕事への向き合い方や気持ちの状態、仕事に対する満足感ややりがい、仕事への思い入れや関わり方、日常生活の中で感じる充実感、物事に粘り強く取り組む傾向などについてお聞きします。いずれも、日常的な感じ方や考え方についておたずねするものであり、専門的な知識や事前の準備を必要とするものではありません。

本研究は、皆さまの現在の感じ方をそのままお聞きすることを目的としており、正解・不正解はありません。率直に感じていることを、そのままお答えいただくことが、本研究にとって最も重要です。調査全体を通して、参加者の皆さまに過度な負担が生じないよう、質問内容や回答時間について十分に配慮しています。回答にかかる時間は、およそ 15～20 分程度を予定しています。

この研究に参加されることにより予想される利益、不利益、危険性

この研究に参加することによる利益の毀損、宣伝等の直接的な利益、不利益はございません。

プライバシーおよび個人情報の保護

Web 調査の特性上、回答者個人を特定することはできない仕組みとなっておりますのでご安心ください。個人情報

報が特定できないように処理されますが、回答した内容そのものを撤回したい方は、「お問い合わせコードの設定」から、コードをご設定いただき、下記にごございますメールアドレスより研究代表者にご連絡ください。研究全体の結果につきましては、成果としてまとめましたらご報告させていただきます。

研究内容のフィードバックについて

この研究の結果がわかるまで数か月を要する場合があります。また、研究結果については、企業及び回答者が特定されない形で学会発表、学会誌などにおいて発表させていただきます。

費用

本研究の実施に際して、ご費用を負担していただくことはございません。

同意及びその撤回、協力中止について

この研究についてご協力いただける際には別紙「A-03 研究同意書」に署名をお願いいたします。尚、同意の撤回につきましては、別紙「A-04 研究同意撤回書」のご提出をお願いいたします。同意の撤回につきましては、2027年9月末日までといたします。以下の連絡先にメールでご一報いただければと存じます。

その場合、資料は全て破棄いたします。ご留意の程、よろしくお願いいたします。

【研究・調査内容に関する問い合わせ先】

(研究責任者)

学校法人越原学園 名古屋葵大学 児童教育学科 講師 古谷 淳
高田短期大学 子ども学科 助教 伊藤 拓也

代表 052-852-1111 直通 052-838-8606 afuruya@nagoya-aoi.ac.jp